

「アクワン」シリーズに 1液式の「アクワントank A」 「アクワントank B」が今秋新登場!



アクワントankを使用した栽培試験の様子
右奥に写るタンクには濃厚原液を入れて、栽培期間中に沈澱などの問題が起こらないことを確認した
(全農 営農・技術センター肥料研究室での「ういずOne」栽培)

表1 「アクワントank A」「アクワントank B」の成分表

	保証成分(%)						含有成分(%)				
	窒素 N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	苦土 MgO	マンガン MnO	ホウ素 B ₂ O ₃	鉄 Fe	銅 Cu	亜鉛 Zn	モリブデン Mo	石灰 Ca
アクワントank A	10.0 ^{*1}	13	33	1.0	0.18	0.18	0.234	0.007	0.013	0.005	—
アクワントank B	12.0 ^{*2}	—	2	4.5	—	—	—	—	—	—	11.95

*1 : A(うちアンモニア性窒素1.0、硝酸性窒素8.2)、*2 : B(うち硝酸性窒素12.0)



原液の作り方

※アクワントankは、AとBをセットで使用する肥料です。ほかの肥料と混合しないようにしてください。

- ・溶解する順番を必ず守るようにしてください。
- ・150 L程度の水にアクワントank A・Bの順に完全溶解後、200 Lの目盛まで水を足してください。
- ・「ういずOne」で使用される場合も、同様の手順で原液を作成してください。
- ・イラストの溶液は実際の色と異なります。

図1 原液の作成手順

全農は、養液栽培専用の複合肥料「アクワン」シリーズ(取扱:片倉コープアグリ株)の新たなラインナップとして、1液式の「アクワントank A」と「アクワントank B」の販売を今秋から開始します。

製品ラインナップ

2タンクで溶解する2液式と呼ばれる養液混入方法に対応した「アクワン1号」と「アクワン2号」は、2017年夏の発売開始以来、おかげさまで全国各地で使用いただいています。

こうしたなか、全農では、養液栽培専用の低コスト複合肥料のラインナップを充実させるため、今秋、1液式の「アクワントank A」と「アクワントank B」の販売を開始することになりました(成分は表1)。

アクワントank A・Bの特長

「アクワントank A」と「アクワントank B」は、同一のタンクに溶解して使用する1液式の肥料です。原液の作り方は、最初に「アクワントank A」10kgを約150 Lの水に完全に溶解させた後、続けて「アクワントank B」15kgを完全に溶解させ、水を加えて200 Lにします(図1)。この原液中に植物の生育に必要な肥料成分がバランスよく含まれているため、1つのタンクで栽培が可能です。この機会に「アクワントank A」と「アクワントank B」をぜひご使用ください。

※一部JAでは取扱いのない場合があります。

【全農 耕種資材部 肥料課】